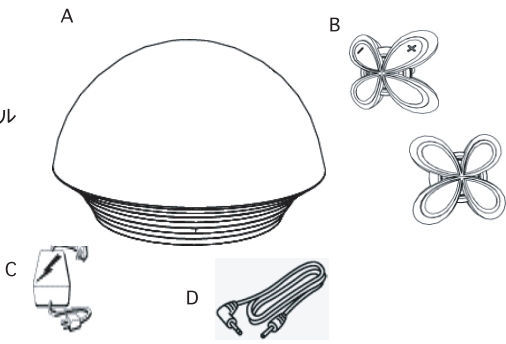


①梱包内容を確認する

- A. JBL spyroサブウーファー
- B. JBL spyroサテライトスピーカー
- C. AC電源アダプター
- D. 3.5mmステレオミニプラグ付きオーディオケーブル

多言語セットアップマニュアル
日本語セットアップガイド(当紙,箱に添付)
保証書(日本国内1年保証,箱に添付)

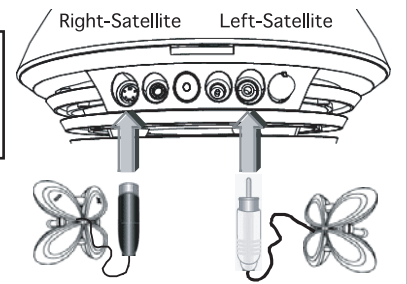


②サテライトスピーカーを接続する。

右用サテライトスピーカーは前面に+のタッチボリュームパッドを搭載しており、4ピンコネクタです。

左用サテライトスピーカーはタッチボリュームパッドを搭載しておらず、ピンプラグコネクタです。

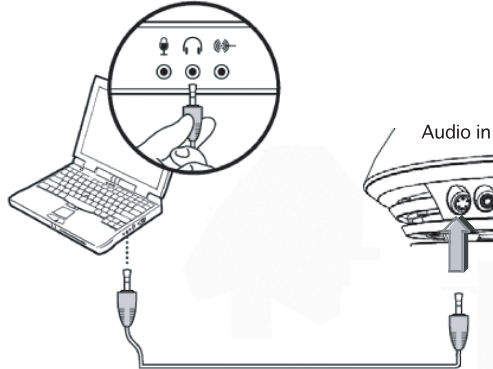
右用サテライトスピーカーをサブウーファー背面のRight-Satellite端子に、左用サテライトスピーカーをサブウーファー背面のLeft-Satellite端子に、それぞれ根元までしっかりと接続します。



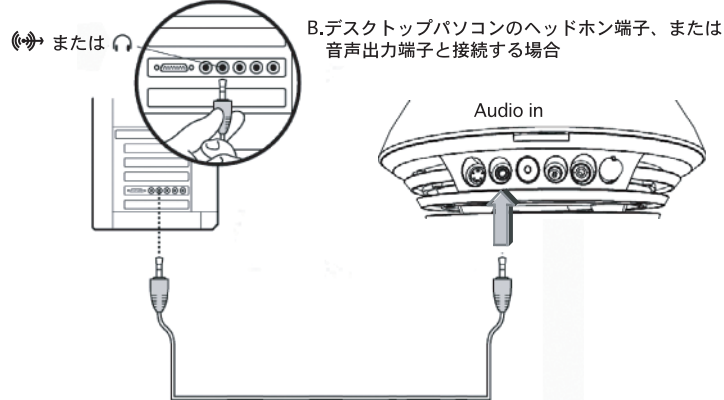
③パソコンやオーディオ機器と接続する

接続する機器のヘッドホン端子または音声出力端子と、サブウーファー背面のAudio-in端子を、付属のオーディオケーブルで接続します。
※ヘッドホン端子または音声出力端子の位置については、接続する機器のマニュアルをご確認ください

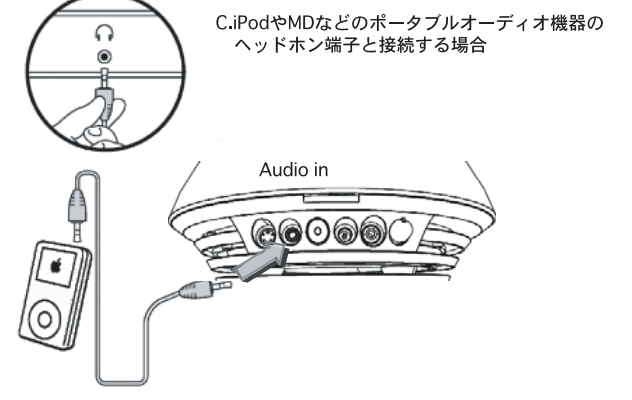
A. ノートパソコンのヘッドホン端子と接続する場合



B. デスクトップパソコンのヘッドホン端子、または音声出力端子と接続する場合

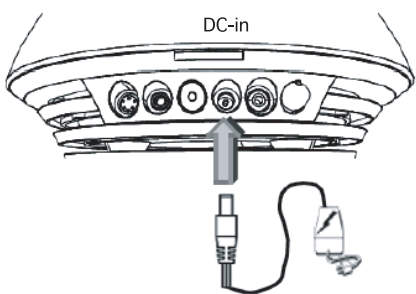


C. iPodやMDなどのポータブルオーディオ機器のヘッドホン端子と接続する場合



④ACアダプタを接続する

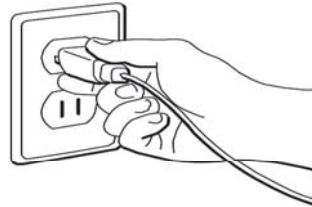
AC電源アダプターをサブウーファー裏側のDC-inに接続します



⑤コンセントに接続する

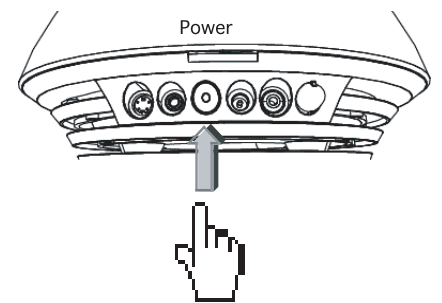
AC電源アダプタにACコンセントケーブルを差し込んで、最後に壁のコンセントに接続します。

*必ず付属のACアダプタをお使い下さい。
*ACアダプタは必ずサブウーファーに接続してから、最後にコンセントに接続して下さい。
*当ACアダプタは100V~240V(50Hz/60Hz)ですので、国内外でご使用いただけます。



⑥電源スイッチを入れる

サブウーファー背面の電源スイッチを押して電源をオンにします。通常電源がオンになるとスイッチ中央がグリーンに点灯します。

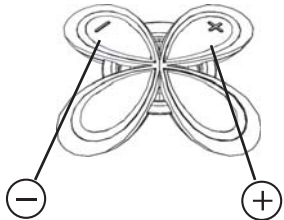


⑦音楽再生をして音量を調整する

接続したパソコンやオーディオ機器を再生し、右サテライトスピーカーの+ (プラス) 又は- (マイナス) のタッチボリュームパッドに触れて音量を調整します。

◆+/-両方のボリュームを同時に触れるとミュート (消音) 機能が働き、+/-どちらかのボリュームに触れるとミュートが解除されます。

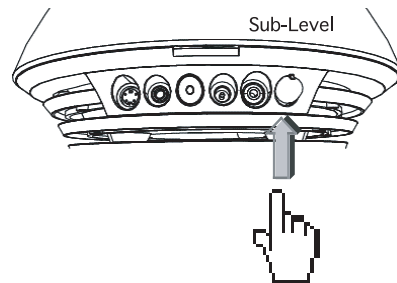
◆電源をオフにすると音量メモリ機能が働き、再度電源をオンにすると同じ音量設定で再生します。



⑧音楽再生をして低音を調整する

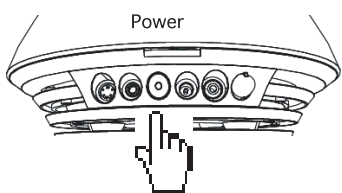
音楽再生しながら、サブウーファー背面のSub-Level (低音ボリューム) を調整して、好みの音質に設定します。

*ノブを真ん中にした時 (ポイントが一番上に向けた状態) が音質的にフラットな状態です。

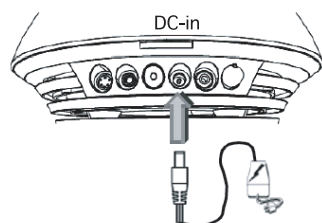


トラブルシューティング

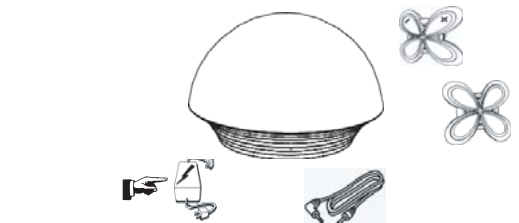
電源が入らない場合



正しくAC電源アダプタが接続された状態で、電源スイッチを押すとスイッチ中央がグリーンに点灯します。

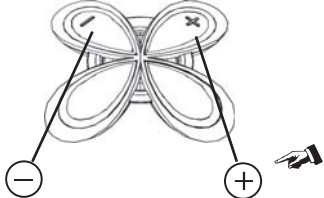


AC電源アダプタがサブウーファー背面のDC-in端子に、ACコンセントケーブルがAC電源アダプタに、ACコンセントケーブルがコンセントに、それぞれ正しく根元まで接続されているかご確認ください。

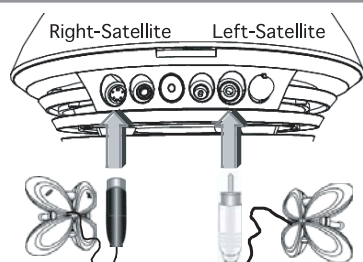


AC電源アダプタは必ず付属品を使用します。誤って付属品以外のAC電源アダプタを使用しないでください。

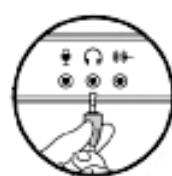
音が出ない場合



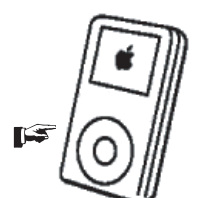
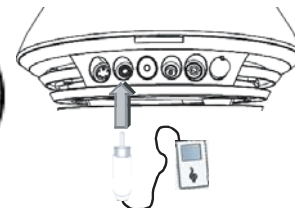
右サテライトスピーカーのボリュームがミュート、または非常に小さくなっていないか、+ボリュームにさわってご確認ください。



左右サテライトスピーカーがサブウーファーの各端子に、左右正しく根元まで差し込まれているかご確認ください。



接続する機器のヘッドホン端子(又は音声出力)端子とサブウーファーのAudio in端子が付属のオーディオケーブルで正しく根元まで差し込まれているかご確認ください。



接続している機器の音量がオフまたは非常に小さくなっていないかご確認ください。

裏面へ続く

製品の仕様

- 方式：2.1chアクティブスピーカーシステム ■オーディオ入力：3.5mmステレオミニジャック ■コントロール部：タッチセンサーボリューム、サブレベルコントロール ■周波数特性：40Hz～20kHz
- 使用ユニット：Odysseyネオジウムドライバー×2 Atlasネオジウムドライバー×1 ■最大出力：総合36W(6W×2,24W×1) ■入力インピーダンス：5kΩ以上 ■SN比：80dB以上 ■重量：1.8kg
- サイズ：(サテライト) 幅75mm×奥行75mm×高さ75mm、(サブウーファー) 直径220mm×高さ140mm ■電源：付属ACアダプター(100V～240V 50Hz/60Hz)
- 製品構成：JBL spyro本体(サブウーファー×1、サテライトスピーカー×2)、AC電源アダプター、ACコンセントケーブル、オーディオケーブル、多言語セットアップガイド、日本語セットアップガイド、保証書(1年間国内保証)

安全上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・付属品以外のAC電源アダプターの使用はしないでください。又、付属のAC電源アダプターを他の機器に使用する事もおやめください。
- ・この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- ・AC電源アダプターを使用する際、表示されているAC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。
- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。電源プラグを正しく差し込まないで操作すると火災や感電の原因となります。
- ・電源コードを束ねたり結んだままの状態では通電しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
- ・電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)弊社サービスセンターに交換をご依頼ください(有償です)。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・タコ足配線や延長コードの使用はできるだけ避けてください。発熱により火災・感電の原因となります。
- ・雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- ・電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。
- ・万一煙がでていて、変なおいや音がするなどの異常事態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機体本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して弊社東京サービスセンターへ修理をご依頼ください。
- ・水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・内部に水などが入った場合は、まず機体本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機体本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- ・この機器を解体や改造をしないでください。感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- ・機器本体の電源スイッチを切っても電源プラグをコンセントから抜かなければ電流は流れています。長期間この機器をご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ・オーディオ機器を接続する際、各々の取扱説明書に従い指定のコードを使用して接続してください。指定以外のコードを使用すると発熱しやけどの原因となることがあります。
- ・長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

オンラインご愛用者登録のご案内

- ・この度はharman-multimedia製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社ではharman-multimedia製品のご購入者を対象に、ホームページ上でオンラインご愛用者登録を承っております。ご登録いただいたお客様には、サポート情報やキャンペーン情報、新製品情報など、harman-multimedia製品の最新情報をお送り致します。

<http://www.harman-multimedia.jp> このアドレスでトップページにアクセスし、「ご愛用者登録」をクリックしてください。

※携帯電話からはご登録できませんのでご注意ください。 ※ご愛用者登録でご不明な点がございましたら、右記連絡先へお問い合わせ下さい。E-Mail support@harman-multimedia.jp Tel. 050-5561-1560

アフターサポート

- ・日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。 <http://www.harman-multimedia.jp>
- ・日本国内のアフターサポートに関するお問い合わせは、ハーマンインターナショナル株式会社 東京サービスセンターまでご連絡ください。

ハーマンインターナショナル株式会社 東京サービスセンター <http://www.harman-multimedia.jp>
〒135-0033 東京都江東区深川1-6-29 結城運輸倉庫(株)内 E-Mail support@harman-multimedia.jp TEL 050-5561-1560